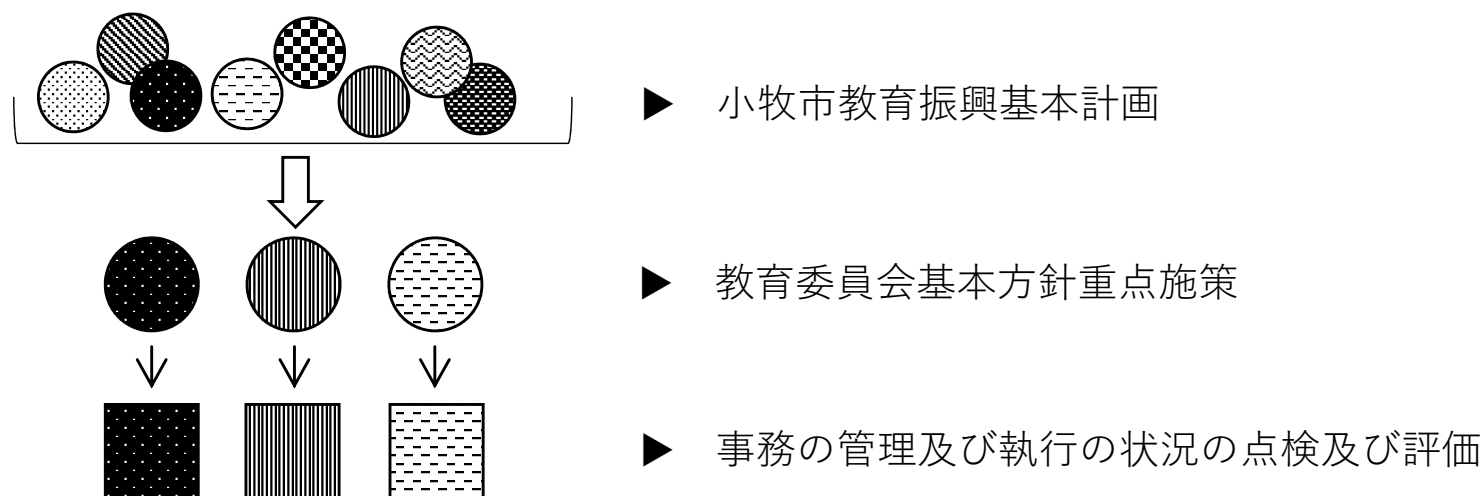


令和 6 年度事務の管理及び執行の状況の点検及び評価

資料1

事務の管理及び執行の状況の点検及び評価 と
教育委員会基本方針重点施策 について



教育委員会では

小牧市教育振興基本計画 にある事業のうち

年度ごとに重点的に取り組む事業を選定し、**教育委員会基本方針重点施策** としてまとめています。
重点施策は年度末に実施状況を点検・評価（＝**事務の管理及び執行の状況の点検及び評価**）します。

今回は、文化・スポーツ課所管の事業の点検・評価をスポーツ推進審議会で行います。
審議会の意見を反映した実施状況は、評価委員会で重点施策の全ての事業とあわせて点検・評価されます。

小牧市教育振興基本計画評価指標（基本目標 6 誰もが参加できるスポーツ活動の展開）

指標名	基準値	目指す方向性 (目標値)	R3	R4	R5
週1回以上適度な運動をしている成人市民の割合	46.1%	65.0%	53.6%	—	57.0%
健康づくりのために、スポーツに取り組む必要があると考えている成人市民の割合	82.6%	↗	86.7%	—	86.4%
健康づくりに関連した運動教室などへの参加者数	1,232人	↗	412人	96人	81人
スポーツ教室などへの参加者数	6,600人	↗	2,459人	2,838人	3,062人
スポーツ指導者登録者数	298人	↗	288人	278人	289人
指導者を対象とした研修会などへの参加者数	254人	↗	183人	105人	131人
市が管理するスポーツ施設における維持管理上の不備による事故件数	0件	→	0件	0件	0件
市が管理するスポーツ施設の年間利用者数	988,001人	↗	384,257人	469,015人	507,822人
パークアリーナ小牧メインアリーナの利用率	78%	↗	75%	76%	76%
パークアリーナ小牧サブアリーナの利用率	86%	↗	85%	84%	81%
南スポーツセンターグラウンドの利用率	36%	↗	42%	43%	31%
2026年に愛知県でアジア競技大会が開催されることを知っている市民の割合	21.1%	↗	16.4%	—	34.0%

令和6年度事務の管理及び執行の状況の点検及び評価 対象事業（令和6年度小牧市教育委員会基本方針重点施策）

基本目標6 誰もが参加できるスポーツ活動の展開

施策25 誰もが楽しめるスポーツ活動の推進 スポーツ教室の開催	小牧市スポーツ協会や加盟競技団体等と連携して市民スポーツ教室を開催し、広く市民がスポーツに親しみながら健康や体力を増進する機会を提供します。
施策26 こどものスポーツ活動の充実 こども対象のスポーツ教室の開催	こどもたちが幅広くスポーツに親しむため、小牧市スポーツ協会や加盟競技団体等と連携し、各種目のスポーツ教室を実施します。
施策26 こどものスポーツ活動の充実 地域部活動の検討	国・県の動向及び近隣市町の状況等を注視し、本市における部活動の望ましいあり方を検討するとともに、少子化の中でも、将来にわたって小牧市のこどもたちが文化・スポーツに継続して親しむことができる機会を確保するため地域と連携して環境の整備に取り組みます。
施策27 競技スポーツの振興 パークアリーナ小牧等を活用した大会等の誘致	小牧市スポーツ協会と連携し、SVリーグ等のプロチーム等の試合を誘致し、多くの市民に国内トップレベルの競技を観戦する機会を提供します。
施策28 市民のスポーツ活動を支える環境整備 スポーツ施設の環境整備	利用者が市内のスポーツ施設を良好かつ安全に利用できるよう、スポーツ施設の適切な維持改善、計画的な改修を行います。

「スポーツ教室の開催」実施状況（1）

（内容）小牧市スポーツ協会や加盟競技団体等と連携して市民スポーツ教室を開催し、広く市民がスポーツに親しみながら健康や体力を増進する機会を提供します。

【施策の実施方法】

本市では、スポーツ協会に加盟する競技団体及び小学校区スポーツ振興会などの地域スポーツ団体並びに市やスポーツ協会が様々なスポーツ教室を開催し、市民がスポーツを始め、それぞれのライフスタイルに応じて継続してスポーツに取り組むことができる機会の提供に取り組んでおります。

また、これらのスポーツ団体に対し、助成金等の支出や市内のスポーツ施設及び学校体育施設の優先貸出といった各種支援を実施することで、市内のスポーツ団体の活性化に取り組んでおります。

競技団体の スポーツ教室

こどもから大人まで、基礎技術の習得や競技力の向上を目的に開催

例：柔道、剣道、サッカーなど

スポーツ協会の スポーツ教室

競技団体で実施していない種目や、こども向けの教室を開催し、競技を始めるきっかけの場として開催

例：初心者水泳、ジュニア育成、Viva!スポーツクラスなど

市の スポーツ教室

健康増進を目的とした教室や、こどもの発育を目的とした未就学児、小学生向けの教室を開催

例：シルバースポーツ学級、親子体操教室、ノルディックウォークなど

地域スポーツ団体の スポーツ教室

こどもから高齢者までが気軽に楽しめるニュースポーツなどを小学校区スポーツ振興会などが開催

種目例：ペタンク、モルック、ボッチャなど

課題

- 指標（R5）において、「健康づくりのためにスポーツに取り組む必要があると考えている」が86.4%となっているのに対して、「週1回以上適度な運動をしている」では57%とギャップが生じている中で、R6のスポーツ教室参加者数は前年に比べて減少傾向にあります。スポーツ団体の多くが少子高齢化の影響などによる会員数の減少、指導者不足等の問題を抱えています。

今後の 取組

- 運動に取り組む方法は様々ですが、市としては、市民の健康増進や地域の交流に対する意識・意欲の向上を図りながら、学校、スポーツ団体、家庭及び地域との連携をより密に図り、スポーツ教室などのスポーツを実践する機会の拡充に努めていきます。

基本目標6 誰もが参加できるスポーツ活動の展開 - 施策25 誰もが楽しめるスポーツ活動の推進
「スポーツ教室の開催」実施状況（2）

競技団体のスポーツ教室

・こどもから大人まで、基礎技術の習得や競技力の向上を目的に通年で参加できる教室を開催しています。

※詳細は別紙参考「令和6年度小牧市民スポーツ教室」パンフレットのとおり

スポーツ協会のスポーツ教室

・大人をメインターゲットとし、そのスポーツを知ってもらう、始めてもらうきっかけづくりのため、5種目（テニス、卓球、バドミントン、ミニテニス、ミニトランポリン）の教室を開催しました。

※こども対象の教室は後述

※詳細は別紙参考資料1-1,1-2 参考「令和6年度小牧市民スポーツ教室」パンフレットのとおり



「スポーツ教室の開催」実施状況（3）

市のスポーツ教室

・いきいきシルバースポーツ学級・・・60歳以上を対象。ストレッチやレクリエーションスポーツを通年で複数の種目を体験し、スポーツを始めるきっかけの場、健康維持・コミュニティづくりの場としています。講師は小牧市スポーツ推進委員やスポーツ協会加盟団体などが務めています。

・ノルディックウォーク講習会・・・市内在住・在勤・在学者であればどなたでも参加できる教室です。正しくポールを使うことで上半身を使い足腰の関節への負担軽減が図られます。歩行姿勢の改善やリハビリにも応用することができ、日常生活において健康増進に役立ててもらうため開催しています。全日本ノルディックウォーク公認指導員のもと、前期は小牧山、後期は市民四季の森で開催しました。

※詳細は別紙参考資料1-1,1-2のとおり



「スポーツ教室の開催」実施状況（４）

地域スポーツ団体のスポーツ教室

・未就学児から高齢者まで気軽にスポーツに親しんでもらうため、スポーツ協会に加盟している小学校区スポーツ振興会などに地域スポーツ教室の開催委託をしています。

講師は主に各校区のスポーツ推進委員が務めており、令和6年度は12月末時点で8校区で開催され、延べ888人が参加しました。（その他2校区未完了）

※詳細は別紙参考資料1-3 のとおり



「こども対象のスポーツ教室の開催」実施状況（1）

（内容）こどもたちが幅広くスポーツに親しむため、小牧市スポーツ協会や加盟競技団体等と連携し、各種目のスポーツ教室を実施します。

こどもの体力・運動機能の低下が問題視される中、早い時期から運動に触れ、運動を好きになり、様々な年代のこどもたちと触れ合いながら心身を健全に発育させることを目的にスポーツ教室を開催しています。

親子ふれあい体操教室、小牧市スポーツ協会主催のジュニア体操教室などを開催し、こどもたちが楽しくスポーツに親しむ機会を提供しました。

スポーツ協会のスポーツ教室

・未就学児から中学生までを対象とした各種教室（あそび親子運動教室、かけっこ教室、初心者水泳教室、ジュニア体操教室、ジュニア育成（Viva!スポーツクラス含む）、スポーツクリニック）を開催しました。

スポーツクリニックでは、東海理化チェリーブロッサムズ（ソフトボール）、トヨタ車体クインシーズ・ウルフドッグス名古屋（バレーボール）に協力いただき、小学生・中学生に対して指導していただいています。

※詳細は別紙参考資料1-4,1-5 参考「令和6年度小牧市民スポーツ教室」「ジュニア育成活動」パンフレット、「Viva! スポーツクラス」チラシのとおり



「こども対象のスポーツ教室の開催」実施状況（2）

（内容）こどもたちが幅広くスポーツに親しむため、小牧市スポーツ協会や加盟競技団体等と連携し、各種目のスポーツ教室を実施します。

市のスポーツ教室

・親子ふれあい体操教室・・・未就学児を対象とし、親と子のふれあいのなかで、親は遊ばせ上手に、こどもは遊びを通じて生きる力を育てるために教室を開催しました。

・わいわいキッズNewスポーツフェスタ・・・小学生をメインターゲットとして、ニュースポーツをアレンジした種目を体験し、気軽にスポーツに触れてもらうことで、こどもたちにスポーツへの興味を持ってもらうことを目的としています。

※詳細は別紙参考資料1-4,1-5のとおり



課題

- ジュニア育成活動についても指導者不足が課題となっております。
- 今後、学校部活動の地域クラブ化への検討を踏まえながら、こどもがスポーツに親しむ機会の質と量の確保を図る必要があります。

今後の取組

- 課題を踏まえ、スポーツ協会や教育委員会と連携し、スポーツ教室の在り方等を検討していきます。

「地域部活動の検討」実施状況

(内容) 国・県の動向及び近隣市町の状況等を注視し、本市における部活動の望ましいあり方を検討するとともに、少子化の中でも、将来にわたって小牧市のこどもたちが文化・スポーツに継続して親しむことができる機会を確保するため、地域と連携して環境の整備に取り組みます。

学校部活動の地域連携・地域展開を検討するため、小中学校部活動検討委員会モデル校情報交換会を開催しました。

検討状況

令和6年5月13日（月）、10月16日（水）、11月14日（木）、12月3日（火）、令和7年1月9日（木）

議題：令和6年度モデル校の取組について

令和7年度以降の取組について

※令和6年度モデル校における成果

令和5年度の小牧中、桃陵中の2校に、小牧西中、篠岡中、光ヶ丘中の3校を加え5校をモデル校とした。

桃陵中、光ヶ丘中、篠岡中の3校間において、休日は合同で野球部の活動を行った。野球部がない篠岡中からも希望者が参加をした。夏の中学校大会には合同チームとして参加をした。

令和5年度に桃陵中バスケットボール部に篠岡中学校の中学3年生の生徒が休日の部活動に参加し、夏の中学大会に参加することができたが、今年度も桃陵中バスケットボール部の休日の部活動に、篠岡中の2年生の生徒が参加をする予定。

※令和7年2月に小中学校部活動検討委員会を開催予定

※中学校部活動の現状については、参考資料1-6,1-7のとおり

課題

- 生徒数の減少等により学校単位の部活動を維持していくことが困難な状況にあります。
- 地域連携をどのように進めるか、枠組みを検討する必要があります。
- 地域における指導者の量を確保する必要があるとともに、指導者の質を高めていく必要があります。
- 活動場所、用具の確保、責任の所在、受益者負担（保険料や指導員の謝礼等）などについて、検討をする必要があります。

今後の取組

- 国、県の動向及び近隣市町村の状況を把握するとともに、小牧市として部活動の地域連携・地域移行の方向性を示します。
- 令和6年12月に実施した教員、保護者、児童生徒へアンケートを分析し、今後の方向性を検討するための材料とします。
- 令和6年度に引き続き5校をモデル校とし、小牧中、小牧西中の2校、桃陵中、篠岡中、光ヶ丘中の3校のそれぞれのエリアにおいて種目により会場を指定します。休日は地域連携部活動としての活動を進めていきます。

「パークアリーナ小牧等を活用した大会等の誘致」実施状況

（内容）小牧市スポーツ協会と連携し、SVリーグ等のプロチーム等の試合を誘致し、多くの市民に国内トップレベルの競技を観戦する機会を提供します。

市民が日本トップレベルの選手のプレーを身近に感じ、生の感動を味わうことで、スポーツへの関心を高めてもらうことを目的に、大規模な大会等の試合を観戦する機会を提供しました。

- ・スポーツ協会誘致事業・・・JDリーグ（女子ソフトボール）、SVリーグ（男子・女子バレーボール）、Fリーグ（男子フットサル）の誘致を行いました。
- ・市誘致事業・・・市制70周年記念事業として、プロ野球オープン戦（中日ドラゴンズvs埼玉西武ライオンズ）の誘致を行いました。

※詳細は別紙参考資料1-8のとおり



課題

- 令和8年度のアジア競技大会（パークアリーナ小牧でバレーボール競技を予定）を盛り上げるため、今後特にSVリーグの誘致については運営チーム及び団体と連携・協力を図っていく必要があります。
- こども達に試合でのコートオフィシャルや選手エスコートなどの機会を与え、スポーツの楽しさや素晴らしさを知ってもらう必要があります。

今後の取組

- アジア競技大会の機運醸成のため、SVリーグの運営チーム及び団体と調整を行います。
- 大会を誘致した場合は引き続き小・中学生を対象としたクリニックを実施してもらうようチーム等に働きかけるなど、こども達が日本トップレベルの技術を身近で感じることができるよう努めます。また、市民が選手と交流できるようチーム等に働きかけます。

「スポーツ施設の環境整備」実施状況

(内容) 利用者が市内のスポーツ施設を良好かつ安全に利用できるよう、スポーツ施設の適切な維持改善、計画的な改修を行います。

○総合体育館

- ・二酸化炭素消火設備取替修繕
- ・排煙窓修繕
- ・トイレ改修、バリアフリー化工事設計委託 (R7施工予定)
- ・音響設備、照明環境制御システム改修工事設計委託 (R7施工予定)
- ・管理棟空調機更新工事 (予定工期2/20～6/19)

○総合運動場

- ・会議室空調設備更新工事
- ・受変電設備改修工事

達成状況

- 工事が順調に進むよう、施工業者及び関係課と連携を取りながら、工事の監理・監督を行いました。
- アジア大会に向けて総合体育館のトイレ改修、バリアフリー化、音響設備、照明環境制御システム改修工事の設計を行いました。

課題

- 運営上のトラブルなどを事前に想定し、限られた人数でも円滑に運営ができるような体制を整えておく必要があります。
- 施設が全体的に老朽化しており、施設運営においては故障する前の予防整備が重要です。

今後の取組

- 利用者の方が安心して利用できるよう、運営する小牧市スポーツ協会や市の関係部署と協議しながら適切な維持管理に努めます。
- 新たな施設を多くの方に利用していただけるようホームページ・広報等での周知を行います。

○さかき運動場

- ・多目的グラウンド供用開始 (5/2～)
フットサル兼テニスコート2面
ゴムチップウレタン弾性舗装 (ハードコート)
附属設備: ナイター照明8基、防球ネット5m

